

令和7年度 第2回魚津市地域クラブ推進協議会

1 日時 令和8年2月12日(木) 19:00～20:30

2 場所 ありそドーム 研修室

3 参加者

市スポーツ協会

各スポーツ競技団体

市PTA連合会

市中学校長会

市中学校体育連盟

魚津商工会議所 各代表

事務局：市教育委員会(事務局長 担当課長 担当) 市スポーツ協会



4 協議内容

(1)令和7年度活動の振り返り、成果と課題への対応 ※協議会資料参照

(2)令和8年度の推進体制、実施計画 ※協議会資料参照

(3)保護者説明会について ※協議会資料参照

(4)意見交換

【各競技団体より】

○剣道

- ・令和5年度からの地域クラブ活動で軌道にのってきている。休日だけでなく、平日の活動にも広げていきたい。

学校部活動は競技と出会う場として最適であるため、地域クラブ化が進んでも部活動の継続を求む。

○野球

- ・令和8年度から地域クラブを発足する。現在発足に向けて、クラブ内組織等の準備をしている。西部中学校の2、3年生は単独で大会参加をするため、秋からは、合同チームとして大会に参加する予定。

○陸上競技

- ・令和8年度からMTスポラを認定地域クラブとして活動する。中学生コースは週4回であるが、ステップアップコースとして週1回のコースを準備中である。誰でも加入しやすい環境を整えていく予定。

○バレーボール

- ・ファンバレーボールトヤマとして令和4年から準備を始め、発足以来精力的に練習や大会に取り組んでいる。課題は参加人数の減少。他市町村からの加入も受け入れており、魚津市内外でのチーム作りを進めている。生徒の活動環境の提供という意味でクラブの存在をPRしていきたい。

○ラグビー

- ・課題は参加人数の確保。現小学6年生にも声をかけて、興味を示してもらえるようにしている。

○ソフトボール

- ・魚津市としての地域クラブは発足できないため、興味がある生徒は他の地域クラブに参加している。中学校には部活動として活動しているため、協会として部活動をどうサポートしていけるのか協議していく。

○バドミントン

- ・バドミントンは他の競技と違い、地域クラブと総合型地域SCとの2つが存在している。棲み分けとしては、地域クラブでバドミントンに親しみ、更なるレベルアップを求める場合は、総合型地域SCのクラブに入っていければよいと思う。
- ・生徒間のトラブルも見られたので今後も注視していく必要がある。

○柔道

- ・地域クラブとして練習しており、大会は中学校単位で出場している。
- ・人数が少なくなっており、来年度入学してくる生徒も少ない現状。少ない人数でどのように練習をおこなっていくのかを考えていく必要がある。

○ソフトテニス

- ・令和8年度から地域クラブを発足する。既存の教室を地域クラブとする。部活動加入の生徒が多くいるため、来年度から地域クラブを選択できるようにしていきたい。

○サッカー

- ・地域クラブ活動として練習や大会に励んでいる。新川地区には中体連参加の地域クラブがないため、令和9年度からは、新川地区大会はなくなる予定。県内の中体連大会出場のクラブが減少しているため、地区大会ではなく呉東と呉西での枠組みになるのではないかと。
- ・地域クラブが少ないため、他市町村からも受け入れてサッカーがしたいという生徒は加入を促していきたい。

○卓球

- ・令和7年度は地域クラブとして週2回平日として活動してきたが、令和8年度からは、生徒のレベルや指導者の観点から、総合型地域SCのクラブを認定地域クラブとして活動を開始する。中体連の大会も登録を済ませたため、認定地域クラブとして大会参加する。

○水泳

- ・令和8年から総合型地域SCのクラブを認定地域クラブとして活動をする。課題は競

技人口の減少。水泳をしたい生徒が入れるような環境作りをしたい。

【商工会議所より】

- ・課題として、地域クラブ活動の周知が不十分であると感じる。保護者の理解が得られるような取り組みが必要である。
- ・協賛については、難しくはないと感じる。

【PTA より】

- ・3年間の推進活動の成果が出てきていると感じる。生徒の加入人数が少ないことや周知が不十分であること等、課題はあるが魚津市全体で取り組んでいくことが必要であると感じる。保護者にも地域クラブ活動について伝えていく。

【中学校より】

- ・ここまで取組を進めてこられたことに対して、地域指導者の方々へ御礼を申し上げる。各市町村において進度は様々であるが、確実に学校部活動の数は減少しており、生徒の活動機会の確保が求められている。また、高等学校の部活動も生徒の減少という同じ課題を抱えている。魚津市でも部活動協議会の中で、学校部活動の在り方について慎重に協議していきたい。
- ・部活動に入っている生徒の半数が地域クラブ活動に参加している。学校内での課題として部活動と地域クラブ活動の違いを理解することがあげられる。具体例を出して、生徒に説明できるような教員の意識向上を図っていきたい。